

都市型介護予防モデル 松戸プロジェクト

都市部における

新しいボランティアのかたち

～プロボノチャレンジMATSUDO 2017～



**「プロボノ」とは？**

# ボランティアの新しい選択肢

**Pro**      **For**  
**Bono**    **Good**  
**Publico** **Public**

～のために  
善・いいこと  
公共的な

プロボノとは、  
「公共善のために」を意味するラテン語に由来する言葉  
で、**「社会的・公共的な目的のために、仕事で培った経  
験やスキルを活かすボランティア活動」**のことを意味し  
ます。

# プロボノによる支援の位置づけ



## 日常的な活動の推進

生活支援・健康づくり・被害の相談解決など  
個々の課題に向き合い、解決に導くサポートを提供

## 運営基盤の強化

より多くの受益者を支援するために、あるいは、  
より質の高いケアを提供していくために、運営基盤を構築

地域団体・NPO等

### 既存のボランティア支援

- 広報誌等での紹介
- イベントの開催
- 活動場所の提供
- ボランティアの仲介
- 活動費補助
- 情報共有・ネットワーキング等



### プロボノによる支援

- 情報発信基盤の強化
- 資金調達力の強化
- 業務改善・運営効率化
- ボランティアのマニュアル作成
- 事業戦略の策定
- 事業評価等

# プロボノチャレンジMATSUDO2017とは？



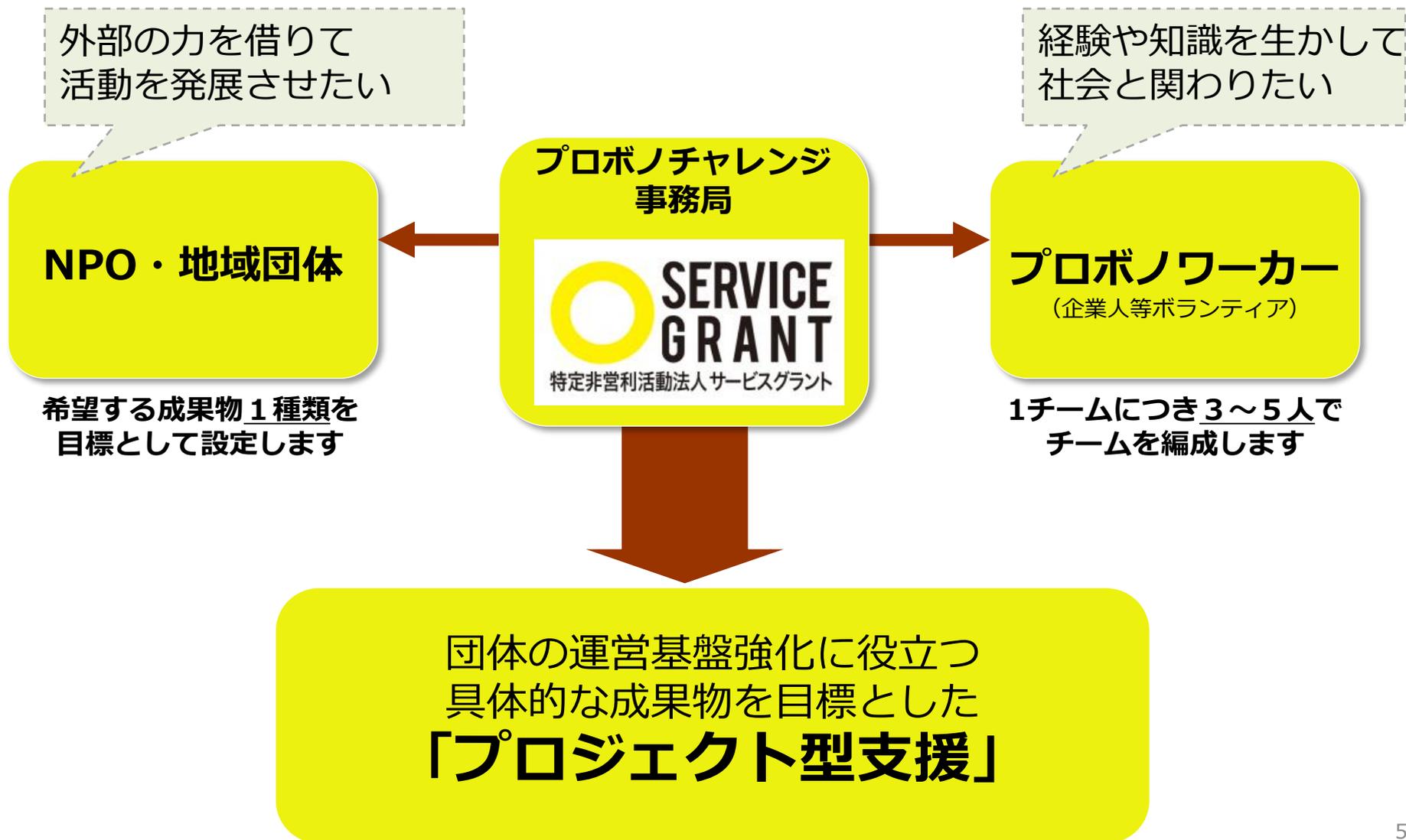
仕事で培った経験やスキルを活かした  
社会貢献活動「プロボノ」に  
約1カ月間で参加できるプログラムです。

## 【「プロボノチャレンジMATSUDO 2017」実施概要】

プロジェクト期間	2017年 8月5日 ~ 9月9日
支援先団体数	5団体
プロボノワーカー数	19人

# 目標を明確にした「プロジェクト型支援」

支援する側・される側の双方が、最も効果的に連携できるように、目標を明確に設定し、具体的かつ実用性の高い成果物を提供とする「プロジェクト型支援」を行います。



# 支援内容

## 総務支援

### 【主な支援内容】

会則・規約の整備  
総会・理事会等の議事録等の整備

地域活動団体の立ち上げに当たって会則・規約等を整備したり、運営上不可欠な総会・理事会等の招集通知や議事録作成、各種資料の整理等について、現状の作業を棚卸し、作業の標準化・簡素化を図る提案を行います。

## 経理支援

### 【主な支援内容】

精算・支払業務の簡素化  
決算資料の整理・作成 等

立替金の精算や領収書の発行など、経理に関連するこまごました作業をはじめ、事務作業の効率化や円滑な作業分担の仕組みをご一緒に考えていくことで、透明性の高い組織運営を応援します。

## 広報支援

### 【主な支援内容】

参加者やボランティア募集用チラシの作成

活動やイベントへの参加者をより多く集めるための方策を提案したり、チラシなどの案内を作成します。地域を応援する新しい仲間を見つける、既存の仲間とのつながりを維持するなどさまざまなニーズに応えます。

## 運営支援

### 【主な支援内容】

運営マニュアルの作成  
事務の効率化 等

運営体制・作業の実施状況を整理し、作業の効率化や円滑な作業分担の仕組みをご一緒に考えます。また、マニュアル等を作成することで、より多くの方が活動の運営の担い手として関わられる仕組みを整えます。

# 支援先と成果物

# 支援先一覧

支援先団体名	支援内容
紫陽花の森サロン	チラシ作成
元気応援くらぶ いとうさん・ち	参加者二一ズ調査
稔台3町会「キラキラいこいの場」	介護予防拠点立ち上げ時のリスク整理
明第2西地区高齢者支援連絡会	チラシ作成
小金げんき友の会	参加者二一ズ調査

# 紫陽花の森サロン

## ■ 団体概要

介護予防の要素を取り入れたリフレクソロジー、音楽療法、アートなどの活動を行う元気応援くらの設立を目指し、活動を順次開始する予定。リフレクソロジーの先生として活動してきた創設者のこれまでの実績、経験を活かしつつ、年配の方に通ってもらえる通いの場づくりを目指している。



## ■ 支援メニュー

チラシ作成

## ■ 支援概要

紫陽花の森サロンの活動を、近隣の高齢者の方へ周知、広報するためのチラシを作成する。



# 元気応援くらぶ いとうさん・ち

## ■ 団体概要

週に1回（毎週金曜午後）自宅を開放し、おしゃべり、編み物、絵手紙など誰でも自由に参加できる場を、元気応援くらぶとして開催している。月に1度は食事会を行っている。



## ■ 支援メニュー

参加者ニーズ調査



## ■ 支援概要

新たな住民（特に引きこもりになっている高齢者の方を含む）に参加してもらうため、アンケートまたはインタビュー等を通じた地域のニーズ調査を行う。「いとうさん・ち」の価値を整理し、新しい人に来てもらうために必要なことは何かをまとめる。調査を行う場合には地域の民生委員と協力しあう。

# 稔台3町会「キラキラいこいの場」

## ■ 団体概要

松戸市の稔台3町会は、盆踊りやお祭りなどの行事が活発な地域だが、高齢化がすすんでいる。町会では、ボランティアの訪問員が高齢者宅を訪問する「友愛訪問」を通じて、孤独感の緩和や事故などの未然防止をはかっている。今後、介護予防につなげるため、町内の空き家を活用して高齢者の居場所『キラキラいこいの場』とする構想の具体化をすすめている。



## ■ 支援メニュー

介護予防拠点立ち上げ時のリスク整理

## ■ 支援概要

介護予防の拠点づくりにあたって、空き家を借用する際のリスクを洗い出し、貸主との間で認識を共有するための文書を作成する。

# 明第2西地区高齢者支援連絡会

## ■ 団体概要

明第2西地区高齢者支援連絡会相談協力員は、自身の所属する地区で、町会や民生委員、児童委員、公私的機関などと協働し、独居高齢者の孤独死を無くし、また高齢者の自立生活とその家族を支援するために活動することを目指している。

## ■ 支援メニュー

チラシ作成

## ■ 支援概要

地域の住民に、高支連の活動をわかりやすく伝え、活動に対する理解と認知を広めるためのチラシを作成する。チラシの活用によって、住民からの情報提供増加や、メンバー募集にもつなげる。



## 明第2西地区 高齢者支援連絡会

あきら

私たちは、高齢者やその家族の**身近な相談員**です。みなさんと同じ街に住み、いつまでも住み慣れた街で過ごせるよう助け合いを推進しています、みなさんが困ったことや気づいたことを気軽にお話しいただきたいと思っています。



あなた自身や周りの人に、こんなことで困っている人はいませんか？



- ◎一人暮らしで心細い
- ◎誰かとおしゃべりがしたい。
- ◎介護保険の仕組みがよくわからない。
- ◎離れて住んでいるのでこの街に住む高齢家族のことが心配。
- ◎認知症の家族について相談したい。

相談は無料です。また相談内容は外部には一切洩らしませんので、安心してご相談下さい。

お困りのことは“**身近な相談員**”か下記までご連絡ください。

(事務局) **電話:047-382-5707**

受付時間:月曜～金曜、8時30分～17時(祝日、年末年始を除く)

事務局は松戸市役所高齢者支援課の委託運営です



私たちは、他にもこんなボランティア活動をしています。

- 地域高齢者への声かけ訪問、見守り
- 高齢者向けサロンの開催や協力
- 町会や社会福祉協議会等と協力した活動(友愛お弁当配食への参加など)
- 介護や認知症についての勉強会、介護施設見学会、地域ケア会議への参加



## 困っていること

## ありませんか？

誰かとおしゃべり  
したい

家族の介護、誰に相談  
したらいいだろう？

最近もの忘れが  
増えてきた

一人暮らしで  
心細い…



私たちにお手伝いできることがあります。

**“明第2西地区 高齢者支援連絡会”**  
あきら

あなたの地域の相談協力員は

**〇〇 〇〇(さん) です。**

連絡先(事務局) **TEL 047-382-5707**

受付時間:月曜～金曜 8時30分～17時(祝日、年末年始除く)

事務局は松戸市役所高齢者支援課の委託運営です

私たちは、この地域に住む身近な相談員です。住民同士の助け合いを推進するとともに「民生委員」や「高齢者いきいき安心センター」などの専門相談機関とも連携して高齢者やその家族のお手伝いをしています。

相談は無料。相談の内容を外部に漏らすことはありませんのでご安心下さい。

他にも、こんな活動をしています。…

- 地域の見守りや声掛け
- 高齢者のイベント運営やお手伝い
- 認知症や介護についての勉強会
- 地域ケア会議への参加
- 町会や社会福祉協議会と協力した活動(友愛お弁当配食、など)



# 地域をそっと見守り、 あなたの“思い・悩み”に 寄り添う人がいます

「こんにちは」「ご機嫌いかがですか？」  
こんな何気ないあいさつを積み重ねていると、  
ちょっとした変化に気づくことがあります。

「一人暮らしで心細い」  
「家族の介護や看病に疲れた」  
「どこに相談すればいいのかわからない」

あなたやご家族、周りのお年寄りが困っているとき、  
そっと助けたり、助けてあげられる人を紹介しています。

地域でこの様な活動を平成 18 年から続けている、

わたしたちは

**明第 2 西地区**

あきら

**高齢者支援連絡会** です。

お困りのこと、お気づきのことは、お近くの“相談協力員”または  
下記連絡先へ。(相談内容を外部に漏らすことはありません)

(事務局) **TEL : 047-382-5707**

受付時間：月曜～金曜、8時30分～17時(祝日・年末年始を除く)

事務局は松戸市役所高齢者支援課の委託運営です



# 小金げんき友の会

## ■ 団体概要

小金高齢者いきいき安心センター（小金地域包括支援センター）が開催する介護予防等の教室を受講した地域住民の継続的な介護予防・仲間づくりを目的に、センターの呼びかけにより設立。

地域内を探索しながら「地域資源マップ」を作成したり、介護予防をテーマとした「ウォークラリー」等の活動を実施している。



## ■ 支援メニュー

参加者ニーズ調査

## ■ 支援概要

認知症サポーター養成講座修了者が任意に参加する「友の会」の今後の運営に関する認識・ニーズの調査を行う。

主に、「友の会」メンバーとして継続して活動に参加した方を対象に、これまで数年間行ってきた活動の評価や、今後の展開への期待、ありがたい活動の姿、自主運営化への認識や運営上の課題等について話を伺う。調査の結果から、自主化の際の課題と可能性について整理する。



## 今後の変革方向性のアイデア

- 地域社協との連携
- 団塊世代への対応
- 事業化（バザー等、少額でもよいからお金を取る）
- やる気のある高齢者が活躍しやすい環境整備
  - 小金宿まつりとの連携（勧誘）
- IT（スマホ）の活用（高齢者との接点の強化）

## ご提案

### 自主運営に向けた施策

1. 現役世代の活用（企業との連携、プロボノ）
2. 大学との連携（授業、ゼミ、学生団体）

### 活動の魅力を強化するための施策

3. 体操など身体を動かす目的のイベント
4. 助成金などの活用による活動の活性化

 **世代間交流、地域活性化**

イオンと連携？)

友の会 支援担当チーム

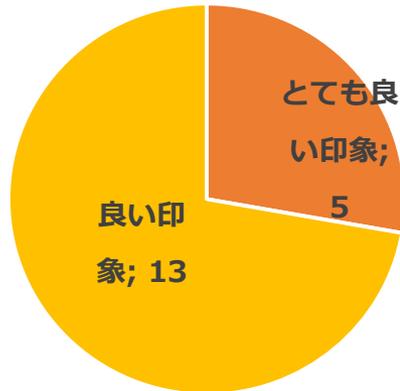
22

# アンケート結果より

# 参加者アンケート（その1）

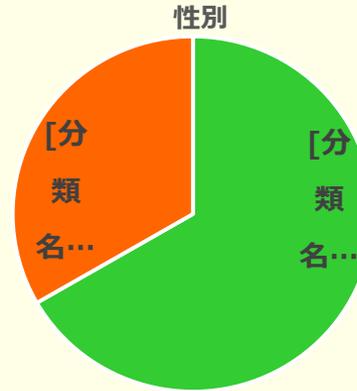
（回答数：18名／参加者19名中）

今回の「プロボノチャレンジMATSUDO」への参加経験についてどのような印象をお持ちですか？

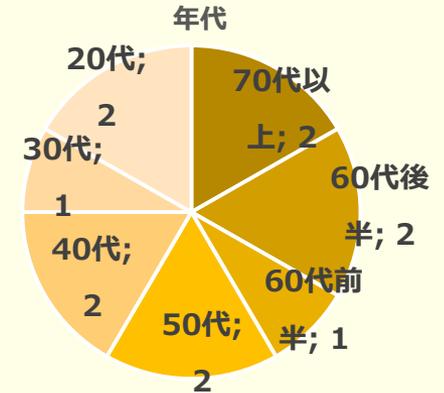


回答者全員が  
良い印象と回答

参加者属性

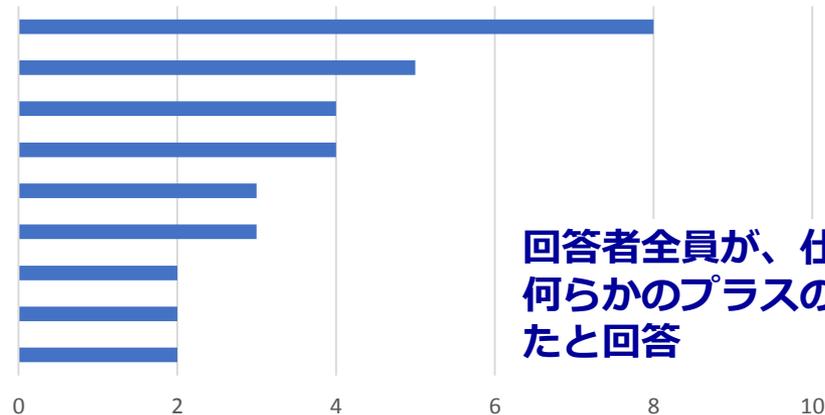


男性2/3、女性1/3、幅広い年齢層が参加



お仕事をされている方は、プロボノプロジェクトに参加したことで、ご自身のお仕事にどのような変化や影響がありましたか？（複数回答）

- 今の仕事に生かせる有意義な経験を得ることができた
- 自分の専門性やスキルを再認識することができた
- 自分の専門性やスキルを磨くことができた
- 仕事上のコミュニケーションの仕方が変わった
- リーダーとしての視点やスキルを身につけることができた



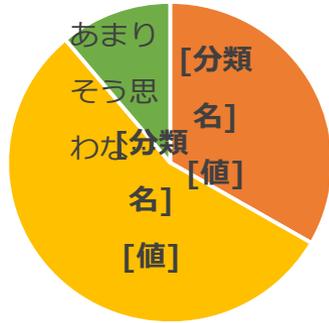
回答者全員が、仕事に関して  
何らかのプラスの影響があったと回答

# 参加者アンケート（その2）

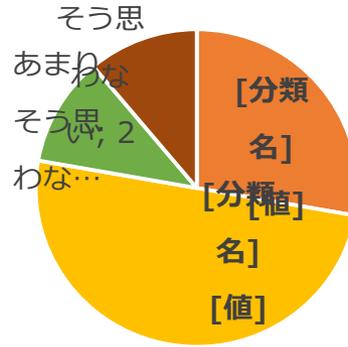
（回答数：18名／参加者19名中）

プロボノチャレンジに参加したことで、ご自身の考え方や生活にどのような変化や影響がありましたか？

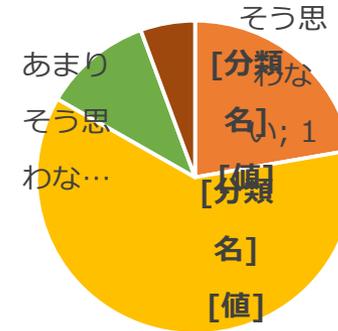
【自身の視野が広がったり、人間的成長につながった】



【人脈やネットワークが広がった】

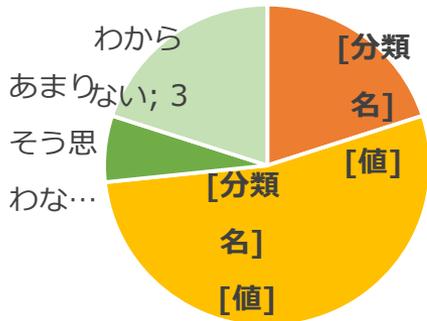


【社会問題に対する見方や考え方が変わった】



回答者全員が、考え方や生活に関して何らかのプラスの影響があったと回答

松戸市で継続してプロボノプロジェクトを実施した場合、ご自身は、引き続き参加したいと思いますか？



• 今回の参加で、机上論でない実践的ビジネス経験が地域活動にも生かせる気がしました

参加者の4人のうち3人が引き続き松戸市でプロボノをしたいと回答

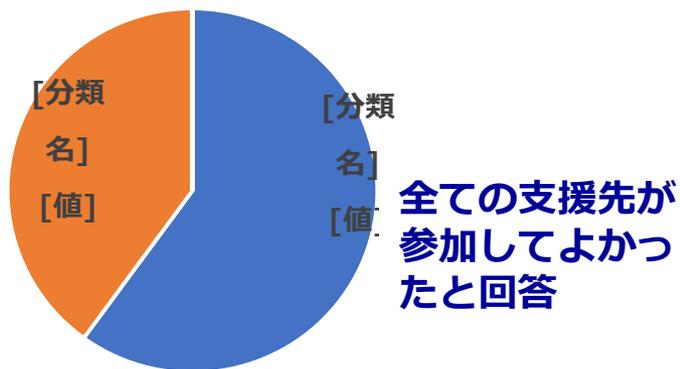
ズバリ、あなたにとってプロボノチャレンジMATSUDOとは何ですか？

- ◆ 地域活動への参画
- ◆ ボランティア活動へのデビュー
- ◆ 地域が豊かになるために…を初めて考えた時間
- ◆ 松戸の問題だけど日本全体に繋がる課題の集まり
- ◆ 全く関わったことのない業界の内情を知ることができた発見の場でした

# 支援先アンケート

(回答数：5団体)

今回の「プロボノチャレンジMATSUDO」に参加して、全体としてよかったと思いますか？

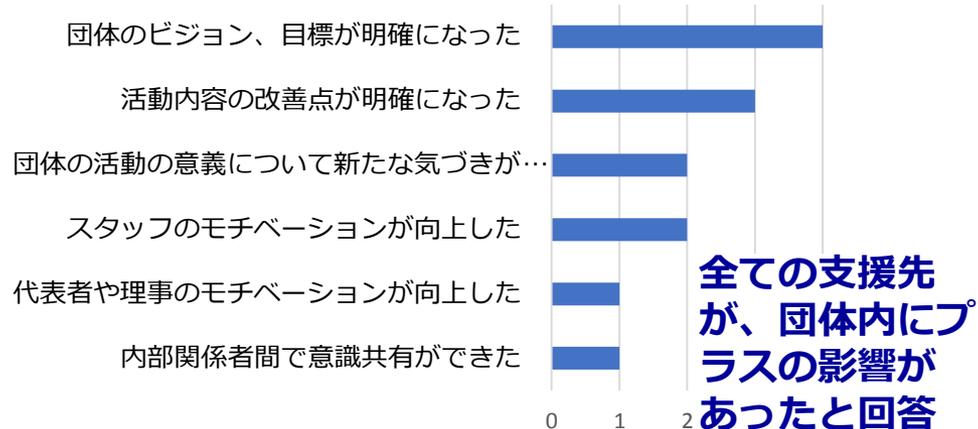


- 自分たちでは聞きづらい団体内部の意見を多く聞くことができた
- 外部のプロボノワーカーの皆さまから様々な視点からの提案やアドバイスを聞くことができ、今後の方向性について大いに参考とすることができた

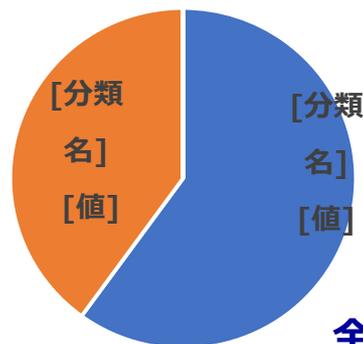
「プロボノチャレンジMATSUDO」の体験を一言で表すとどのような言葉が浮かびますか？

- ◆ 専門的な、プチ短期支援
- ◆ 熱意
- ◆ 新たな気づき
- ◆ 他人に評価してもらうことの大切さ

プロボノ活動を経て、貴団体内部に意識の変化はありましたか？（複数回答）



次回もプロボノプロジェクトが開催されるとしたら、他の人や団体に勧めたいと思いますか？



- プロボノワーカーの皆さまにも、高齢者の現状、ボランティアに興味を持っていただきとてもよかった
- 皆さま本当にお忙しい中で、とても親身に我々をはじめ団体関係者にも寄り添って多くの意見を聞いてくださり、自分たちでは思いつかないアイデアを提示してくださった

全ての支援先が、プロボノを他の人や団体に紹介したいと回答

# お問い合わせ

## プロボノチャレンジMATSUDO2017について

- ◆企画・運営 NPO法人サービスグラント（樫尾、小林）
- ◆メール [info@servicegrant.or.jp](mailto:info@servicegrant.or.jp)
- ◆電話 03-6419-4021

---

### 松戸プロジェクト全般についてはこちら

松戸市福祉長寿部介護制度改革課  
千葉県松戸市根本387番地の5 新館9階  
電話番号：047-366-4101